

審議対象基本施策（5 施策）

グループ	分野	基本政策	基本施策	基本施策タイトル	内部評価結果	基本計画冊子※
A	5	6	1	対象者へのアプローチ（人）	1	49 ページ
B	10	15	2	地域資源を活かした生涯学習の推進	1	87 ページ
C	戦略	B	3	ともに支え合い暮らせるまち	1	210 ページ
D	29	38	2	共助による災害対応体制の推進	1	177 ページ
E	24	32	2	空き地対策	1	153 ページ

○行政評価シート一式（資料 3）にも同様の評価シートが含まれています。

○審議会当日は、当該施策に対し、「今後どのような視点を持って取り組むべきか」などを中心に、委員の皆さまからご意見をいただく予定です。

○審議対象以外の施策についてご意見がある場合には、意見等記入票（資料 4）にご記入いただき、審議会当日にお持ちください。

※基本計画冊子は、「富士見市第 6 次基本構想・第 1 期基本計画」のページを表記しています。

計画	基本計画	分野	5	高齢者福祉	基本政策	6	社会(地域) 参加できる	関係課	高齢者福祉課、生涯学習課				
No.	基本施策	進捗	No.	取組	進捗	具体的な取組			R3年度の成果及び効果(見込)				
1	対象者へのアプローチ(人)	1	1	社会参加するための支援	C	高齢者学級の充実・参加促進 老人クラブ活動支援、各種サークル活動への参加促進 広報・HPにおける社会資源の周知、啓発 市内循環バス高齢者特別乗車証の発行 老人福祉センターの利用促進			コロナ禍のため、今年度も中止や内容変更をせざるをえなかった高齢者学級があったため、参加促進につながる施策を行うことができなかった。老人クラブ活動や各種サークル活動及び老人福祉センターの利用促進については、施設利用が制限されたことなどから、十分な活動が行えなかったものの、可能な限り利用していただけるよう努めた。				
			タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
			KSF	高齢者学級の参加者数		502人(R1)	468人(R2)					530人(R7)	
			2	定年退職後の地域デビュー支援	C	アクティブシニアの活躍推進 地域自主活動グループの育成 町会、自治会、民生委員活動の周知			地域デビューの支援のためには、地域で活躍できる場の充実が不可欠であり、地域を充実させるためには、人と人とのつながりの構築が必要となるが、コロナ禍ということもあり、活動が行えなかった。				
			タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
KSF	アクティブシニア施策の参加者数		未取得	未取得					+10%(R7)				
3	未来の対象者(40~64歳)へのアプローチ	C	生涯学習施策の普及・啓発 各種団体への出前講座の実施 広報・HPにおける社会資源の周知、啓発(再掲)			富士見市アンケートモニター調査(R3.3)において、生涯学習活動への認知度を調査した結果、半数以上が「知らない」と回答しているが、コロナ禍ということもあり、効果的な施策は行っていない。							
			タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
			KSF	若年層の生涯学習施策の認知度		未取得	45.9%(R2)				+10%(R7)		
KPI	タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値				
	社会(地域) 活動の認知率		未取得	未取得					+20%(R7)				
課題及び次年度の方向性													
<p>老人クラブや各種サークル活動及び町会・自治会活動等は、人と人、相互の親睦を図りながらの活動であり、その活動がコロナ禍の影響で制限され、人との繋がりが希薄になりつつある。こうした状況下では、対象者への効果的なアプローチが困難となっているが、コロナ禍でも活動できるような内容や工夫を行っていくことが必要であると考えている。</p>													

計画	基本計画	分野	13	多文化共生・国際交流	基本政策	18	外国籍市民と地域住民がつながりを持つことができる				関係課	文化・スポーツ振興課		
No.	基本施策	進捗	No.	取組	進捗	具体的な取組						R3年度の成果及び効果（見込）		
3	国際交流の推進	4	1	交流機会の充実	B	多文化理解を促す広報の充実 国際交流フォーラムの開催 外国籍市民が地域に溶け込む機会の提供						今年度についても、コロナ禍により国際交流フォーラムやミニスポーツ交流大会などが中止となったが、コロナ禍が少し落ち着いた時期に代替イベントとして、国際友好協会が難波田城資料館において外国籍市民等30名余りが参加した古民家体験イベントを行い交流を深めることが出来た。		
			KSF		タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
					国際交流フォーラムの参加人数	520人 (R元)	-						520人以上 (R7)	
			2	姉妹都市との交流	A	市民参加事業の充実 市民団体との連携						10月11日から23日まで姉妹都市記念日シャバツ市関連展示を開催した。また、今年度行われた東京2020大会のレガシーとして開催したセルビア共和国関連事業として、セルビア語講座、料理講座、出前講座等を計12回開催し、セルビア共和国及びシャバツ市への理解を深めた。		
KSF		タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値					
		姉妹都市交流事業の開催数	1回 (R元)	13回						4回 (R7)				
KPI	タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値					
	国際交流を楽しみと感じた参加者の割合		-	-					75.0% (R7)					
課題及び次年度の方向性														
令和4年度は、シャバツ市との姉妹都市提携40周年、日本・セルビア友好140周年の節目を迎える。今まで培ってきた交流の歴史を礎に、今年度は、シャバツ市からの訪問団を招待し新たな交流を推進していく。また、東京2020大会のレガシーとして、ホストタウンとなったセルビア共和国の関連事業を実施を含め、既存事業と合わせてシャバツ市やセルビア共和国との交流の活性化を図っていく。														

計画	総合戦略	分野		基本政策	B	「人」にあたたかい富士見市	関係課	政策企画課・協働推進課・建築指導課					
No.	基本施策	進捗	No.	取組	進捗	具体的な取組				R3年度の成果及び効果（見込）			
3	ともに支え合い暮らせるまち	1	1	地域コミュニティの推進	C	町会への加入促進 地域まちづくり協議会設立の支援 地域まちづくり協議会の活性化支援				市ホームページにおいて、町会紹介ページを作成・配布し、加入推進及び町会PRを支援している。また、町会長連合会と共同で町会運営マニュアルを作成、町会に配布している。結果として町会役員等にノウハウを伝えることができた。 新型コロナウイルス感染症のまん延による緊急事態宣言の発令等により、まち協の活動も制限されていたこともあり、未設置地域への働きかけは実施できていない。 協議会同士の交流会開催予定（3月）。情報交換等を行うことにより、協議会活動が再開に向けて活性化された。			
			KSF	タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
				地域まちづくり協議会の設立		6ヶ所（R1）	6ヶ所（R2）					11ヶ所（R7）	
			2	近居・同居の促進	C	近居・同居に対する支援 近居・同居セミナー等の開催				未実施			
			KSF	タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
	近居・同居相談支援件数		-	-					5件/年（R7）				
KPI	地域活動への参加状況	タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値			
			地域活動への参加状況		58.1% (H30)	53.6% (R3)				61.0% (R7)			
		課題及び次年度の方向性											
<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、町会活動における、人が集まらなくてもできる会議の開催や、飲食を伴う集まりができず交流が図れないといった課題が出てきているため、新たな支援策を検討する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、人が集めて活動できないという課題が出てきているため、新たな支援策を検討する。</p> <p>近居・同居施策については、住宅支援の観点で支援できることがないか、所管課と政策企画課で協議を進めていくこととする。</p> <p>協働事業提案制度の見直しを早期に完了することで、地域課題を解決しやすくする。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となっていた事業を通常開催することで、市民団体との協働事業を増やす。</p> <p>SDGsの理念の普及啓発に取組み、協働事業への参加に対する市民理解の土壌作りを行う。</p>													

計画	基本計画	分野	29	危機管理	基本政策	38	災害に強いまちと感じることができる				関係課	危機管理課			
No.	基本施策	進捗	No.	取組	進捗	具体的な取組						R3年度の成果及び効果（見込）			
2	共助による災害対応体制の推進	1	1	自主防災組織結成の促進	C	富士見市自主防災組織育成補助金の交付 自主防災組織に係る出前講座の実施等による啓発						富士見市自主防災組織育成補助金を交付し、自主防災組織の資機材整備や防災倉庫の設置等が行われ、地域防災力の向上が図られた。緊急事態宣言解除後は、出前講座を積極的に実施し、防災に関する知識等の啓発や自主防災組織育成補助金の周知啓発を行った。			
			KSF		タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値			
					自主防災組織組織率	75.8% (R元)	75.4% (R3)						100% (R7)		
			2	防災連絡会結成の促進	C	富士見市防災連絡会活動支援事業補助金の交付 防災連絡会に係る出前講座の実施等による啓発						富士見市防災連絡会活動支援事業補助金を交付し、小学校区単位の横の繋がりを持った防災活動が行われた。緊急事態宣言解除後は、出前講座を積極的に実施し、防災に関する知識等の啓発や自主防災組織育成補助金の周知啓発を行った。			
			KSF		タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値			
		防災連絡会組織率	27.3% (R元)	27.3% (R3)						60% (R7)					
KPI	タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値						
	防災訓練の参加者数（延べ人数）		9,811人 (H30)	2,080人 (R2)						17,000人 (R7)					

課題及び次年度の方向性

自主防災組織及び防災連絡会について、新規結成がなかなか進まないことから、今後は未結成団体に対し、防災に関する意識啓発や補助金などの制度を周知し、結成に向けたフォローアップを行っていく。
 防災訓練について、近隣市町や関係機関と連携した訓練を行うなど、効果的な訓練の実施を目指す。

計画	基本計画	分野	24	住環境	基本政策	32	良好な住環境のもとで生活ができる				関係課	建築指導課			
No.	基本施策	進捗	No.	取組	進捗	具体的な取組						R3年度の成果及び効果（見込）			
2	空き地対策	1	1	空き地の流通・利活用	C	空き地バンク等による流通促進 利活用相談等に関する情報発信 空き地の寄附受入れの検討						環境課より引継いだデータを整理し、基礎データを構築し施策の検討の準備をした。			
			タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値				
			KSF	空き地所有者からの相談件数		0件(R1)	0件(R2)					1件以上(R7)			
			2	空き地の適正管理	B	所有者による適正管理の促進						適正に管理がなされていない空き地の所有者等へ適正管理通知による指導を11件行い、4件の改善を確認した。			
			タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値				
KSF	速やかな所有者への適正管理への通知・連絡の実施		-	継続実施(R3)											
KPI	タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値						
	空き地に係る苦情相談件数		11件(R1)	8件(R2)					4件(R7)						
	課題及び次年度の方向性														
<ul style="list-style-type: none"> ・空き地バンク等の流通促進、利活用促進の制度の検討を行う。 ・所有者不明土地法の改正の対応や不在者財産管理制度の研究を行い、解決方法を検討する。 															